

受付 番号	農業委員会委員候補者											推薦者									
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市 認定 農業者	推進委員 併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型 (主な経営 作物)	経営規模					推薦者 代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等 氏名	活動の 主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
1	秋谷 進	男	81	NPO法人 役員	S43.4.1 H13.4.1 H15.4.1 H16.4.1 H19.6.1 H26.4.1 H30.4.1～	青森県庁入庁 青森県農業試験場長 青森県農林水産部長 青い森農林振興公社理事長 むつ小川原原燃興産(株)監査役 NPO法人青森成年後見センター理事長 青森市農業委員	中立委員の 応募のため 無し	-	-	-	▼応募理由… 農業委員の役割も農地利用最適化業務に比重が増加しており、当浜館地域においても「地域連携リーダー」と協力して「地域計画」づくりをすすめてきたところであります。今後は、地域の実情に合わせた完成度の高い「地域計画」にすべく、令和10年度を目標に取り組みを強化したいと考えております。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価… 県庁で主に担当していた業務は各試験場(農業・畑作園芸・花き・りんご・畜産)で実施する試験研究課題の設定、調整でした。研究課題の設定にあたっては相当内容まで入り込む必要があり、この業務を通じて農業全部門についての知識は深まったと考えております。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価… 地域計画づくりのためには地域の実情に詳しい「地域連携リーダー」の協力が不可欠と考えております。そのため、浜館5地域において「リーダー」の選任を行いました。他の2地域においても選定をすすめております。また、多面的交付金を活用する母体として戸山地域を中心に「戸山崎農地水保全会」(以下「保全会」)の設立の働きかけを行い、令和5年3月26日に設立されました。現在、保全会が中心となり「用水路の泥あげ」「草刈り」などが行われており、地域の農業環境も徐々に整備されてきております。今後は当「保全会」を中心に地域の農地利用のあり方などにも取り組みを広げていきたいと考えております。	当市の農業は八甲田山麓に連なる低未利用山地に広大な放牧地が賦存し、むつ湾の周りに米・りんご・野菜などの一大産地が形成されており。しかし、冬期間の積雪の影響もあり施設園芸があまり定着しておらず、肉牛経営も一時期に比べると細々とした状況にあります。一方、米については大規模経営が増加しており、りんごについても旧浪岡町を中心に一大りんご生産地帯が形成されております。しかし、今後ますます進行する高齢化、担い手不足に対処する方策(経営方式)を第一義として、米についてはこれまで以上に大規模化と集落営農を推進する必要性があり、基盤整備の推進が最も重要な課題としてあげられます。りんごについてはこれまでの高品質化・効率化に引き続き取り組む他、高密度栽培による大規模化に取り組むこともこれからの推進方策の一つとしてあげられます。転作田の活用による畑作(ソバ)、野菜(ニンニク・タマネギ)への取り組みの強化、畜産については共同経営による放牧肉用牛(日本短角種)による赤身肉の銘柄産地づくりの推進などにより、青森市という大消費地の強みを生かしているいろいろな形での都市近郊型農業を推進していくことが重要であると考えています。									
2	堀内 俊春	男	55	農業	H29.5～ R3.10～ R6.4～	認定農業者 浪岡川土地改良区理事に就任 青森市農業委員	水田作 (水稻)	水稻1,849a	該当	-	▼推薦理由… 本区域の農業後継者として農業発展に努力していることや、地区の代表として当土地改良区の理事に就任し現在まで5年間努めていること、地元からも将来性を期待されていることから適任であると認め推薦します。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価… 農業後継者で認定農業者として地域の営農に努力しており、地元からも将来性を期待されている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価… 当土地改良区の理事に就任し、土地改良事業を積極的に推進したいと考えていることや、地元からも将来性を期待されている。	農地利用集積を強化し、農業の経営規模拡大と安定した農業経営につなげたい。また、不耕作地の未然防止に努めていきたい。					浪岡川土地改良区	小倉 尚裕	農業水利施設の維持管理	1,532	主に水田の所有者または耕作者
3	千島 修	男	69	農業	H29.4～ H31.4～ H31.4～ R3.4～ R8.4～	青森県農業共済組合清水地区共済部長会会長 青森県農業共済組合総代 青森市北後潟農事振興会会長 青森市農地利用最適化推進委員 青森市北部土地改良区理事長	水稻 そば 野菜	水稻144 a そば120 a 野菜10 a	-	-	▼応募理由… 令和3年4月から農地利用最適化推進委員を2期務め現在に至っています。推進委員の活動を行って地元農家や農業に興味を持つ方々の意見を聞き多少ながらアドバイスをしました。この度、地元から農業委員として活動してきた工藤隆志委員から農業委員で活動してみてもとアドバイスがあり、推進委員で培ってきた活動経験を更に広めて地元だけでなく青森市全体の農業発展に貢献したいと思い応募いたしました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価… 昭和55年より会社勤めをしながら父親の農業を手伝ってまいりました。父親が亡くなってから地元農家と情報交換をしながら、農業、特に稲作に対する知識を身に付けてきました。また、推進委員を2期務めた経験で地元農家から相談を受ける立場となっております。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価… 令和3年4月から農地利用最適化推進委員を2期務め現在に至っています。推進委員の活動を行いながら地元農家の相談を受け、アドバイスできるまでになりました。	私はこの地域で農地利用最適化推進委員を2期務めてまいりました。委員活動を行って来て、この委員活動を足場にして、農業委員として活動範囲を更に広範囲に広めて青森市の農業の持続発展に少しでも貢献できればと思っています。									

受付 番号	農業委員会委員候補者											推薦者										
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市 認定 農業者	推進委員 併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦					
					年月	職名・役職等	営農類型 (主な経営 作物)	経営規模					推薦者 代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等 氏名	活動の 主たる目的	構成員		
																				人数	資格・要件等	
4	安部 浩一	男	66	専業農家	H14.3～ H21.4～ H21.4～H30.3 H31.4～ H31.4～ H31.4～ R3.4～ R4.1～ R7.2～	就農 JA青森農協総代 青森市農業委員 市民センター合子沢分館長 多面的交付活動組織「平成合子沢保全会」会長 合子沢財産区議会区有地調査特別委員会委員長 青森市農業委員 合子沢町会副会長 青森市認定農業者協会会長	稲作	36ha	－	－	▼応募理由… 次世代農業者と農業委員を育成、又、現在の農業者のより良き相談相手としてもう少しがんばりたいと思った。又、農地法などの法の間の中で農業者に的確なアドバイスが出来るようにしたいと思った。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価… 常に勉強会の参加、研修、視察などに参加し、新しいものへのチャレンジや、若手や高齢者農業者へのアドバイスや相談をかかさないようにして地域の問題にチャレンジして解決に向けていると思う。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価… 担い手の育成につとめ、2名の40代の若手農業者を育て、又、地域の相談役につとめ、問題解決に尽力して行った結果、耕作放棄地の減少、若手の中心経営者への移行もうまく行っている。	地域の農業者の代弁者となり、大なり、小なり農業者のかかえる問題に正面から向き合い少しでも力になれるようにがんばりたい。										
5	大柳 建秀	男	70	農業	S53.4.1 H21.4.1 H28.3.31 R2.1.8 R2.11.24 R3.4.1～	青森県農業会議勤務 青森県農業会議事務局長 青森県農業会議退職 農業開業 認定農業者(令和7年11月23日まで) 青森市農業委員	野菜作 (枝豆) 果樹作 (りんご)	野菜5a 果樹11a	－	－	▼応募理由… 農業委員2期目を経験し、引き続き農地利用の最適化推進のため、優良農地を守り有効利用に結びつける活動の一翼を担っていきたいと考えています。 このため、当面、目標地図の精度向上や、担い手への農地集積・集約化を進めていく地域計画のブラッシュアップの取り組みに役割を果たすため、話し合いの促進とマッチング活動を行うとともに、認定農業者、新規就農者など担い手の経営確立を支援することにより、本市農業の活力ある発展に寄与したいと考えます。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価… 農地法令、農業者年金、簿記記帳と青色申告、農業経営の法人化、収入保険制度など、優良農地を守り農業経営の安定と農家生活に役立つ制度について、担い手をはじめ農業者への的確に助言することができます。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価… 農業委員として、地域計画策定のための話し合い活動への参画、担い手と出し手のマッチングと成立後の事務手続きに関して支援を行い、農地集積活動に貢献することができました。また、担い手に対し、青色申告、農業経営基盤強化準備金などの農業税制、収入保険や収入減少影響緩和対策など経営安定制度の普及、活用促進に取り組んできました。	本市農業の活力ある発展に寄与するため、農業委員会の総意によって策定された農地利用最適化推進指針に基づき、次の取り組みに力点を置きつつ、与えられた活動を実践します。 ①食料自給力の強化は、担い手なくして実現しないものであることから、その確保・育成に努め、担い手のよき相談相手として、農地集積・集約対策、農業経営安定対策などに関し、的確に助言し、制度の普及に努めてまいります。 ②山林化して数十年経過するなど、再生困難にして食料生産に寄与しなくなった農地の非農地判定を促進し、現下の優良農地を守ることに力を傾注することにより食料供給の安定を推進します。 ③地域の農地にツキノワグマの足跡、排泄物といった出没の痕跡が目立ってきており、いつ襲われるとも知れない恐怖から、畑作から撤退する農家と不耕作地が増加し、遊休農地の拡大が進行しています。農業委員会法第38条に基づく行政機関への意見の提出を通じて、農地をはじめ生活圏へのツキノワグマ侵入を防除する対策を一層進める必要があります。										
6	木村 孝芳	男	70	農業	S56.3.1 S56.4.1 H29.3.31 H29.4.1 R5.6.8 R6.4.1	京都大学法学部卒業 青森県庁入庁(漁政課、企画課、人事課、商工政策課、地方課、高齢福祉保険課、医療業務課等) 青森県庁定年退職 実家の農業(稲作・畑作)を継承 森林組合あおもり理事就任(現在2期目) 青森市農業委員就任	稲作 畑作 (水稲、トマト、スイカ、大豆、なす、かぼちゃ他)	水田3ha 畑1ha(家族所有含む)	－	－	▼推薦理由… 被推薦人は両親が専業農家であり、農業を兼業として手伝ってきた、都合50年以上も農業経験がある。県庁退職後も自ら主体的に農業に取り組んでいるほか、農業委員会の斡旋を受けるなどし、田畑の周辺農地の購入をするなど、規模拡大も図っている。 戦後農政の基本路線であった自作農を現在でも続けており、農業に対する情熱を持ち続けていて、農業委員会委員としては、農業環境の厳しさや課題の多い時代においても、現場を知る者として最も相応しいので、推薦するものである。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価… 浜館地区において「まっしら、もち米」も作付けするなど先進的、進取の気性に富んでいる。また、みちのくクボタ主催の展示会は毎年参加する他、秋田県の種苗交換会には昨年鹿角市も見学しており、今年11月も由利本荘市での同会に参加予定である。この他、盛岡高等農林史料館は折に触れ訪問し、北東北の農業の歴史や人物に触れていると伺っている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価… JAの研修会に参加する他、地域においては県立保健大学学生のアルバイトを多く雇用するだけでなく、労働を通して食糧の大切さを実践を通して学ばせるほか、令和5年からは大阪公立大学農学部の大学生を農業研修させる取り組みを始めている。今年の稲刈には名古屋大学、東大農学大学院修士2年生も参加していると、聞いている。さらに全国の国公立の農学部及び農学関連学部を見学している(今年11月の高知大学ですべて見学するという。)	少子高齢化など日本農業を取り巻く環境が大きく変化するなどし、国内農業は肥料や農業資材、農業機械価格の高騰、後継者難など課題が山積しています。こういう中においても、少しでも本市農業の発展及び食糧自給率の向上に貢献したいとの思いのほか、地域農業の再生の道筋を農業委員の立場で打ち立てていければという強い自負を、農業委員会委員及び職員と共に形にしていければと願っています。困難な時代情勢においても、明治の著名な農学者である横井時敬の「土に立つものは倒れず、土を活かすものは飢えず、土を守るものは滅びず」の名言を胸に秘めて取り組みする所存である。また青森市議会の議決を経て就任する立場上、農業委員会総会では議論の活発化に役立ちたいと思っている。	阿保 儀和	男	68	戸山崎農地水保全会会計(元JA青森中央南支店長)						

受付 番号	農業委員会委員候補者											推薦者										
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市 認定 農業者	推進委員 併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦					
					年月	職名・役職等	営農類型 (主な経営 作物)	経営規模					推薦者 代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等 氏名	活動の 主たる目的	構成員		
																				人数	資格・要件等	
7	工藤 隆正	男	67	農業	S58.4～ H7.7～ H21～ H28～ H30.4～ R6.4～	就農 認定農業者(青森市)6回 青森県農業機械士連絡協議会会長 新城下町農事振興会会長 青森市農地利用最適化推進委員 油川ほ場整備組合会計	水稻	40ha	該当	-	▼応募理由… 青森市西部地区は全くほ場整備が進んでいませんでしたが、この度、油川地区がやっとほ場整備することとなりました。今後も油川第2、羽白地区、天田内地区のほ場整備を積極的に推進していきます。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価… 米穀検査機関の検査員をしていますので、農家とのかかわりが多く、いろいろアドバイスしている。乾田直播の経験を生かして省力化したい人の手助けをしたい。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価… 集落協定、保全会を立ちあげて、地域の活性を図ってきました。そして、少しずつそれらの面積を増やしてきました。	推進委員を三期やった経験を生かし、これからは青森市全体の農業の発展に尽くしたい。私の一番得意な耕作放棄地の再生作業を広めていきます。(今までに50ha実施、整備含む)										
8	一戸 昭憲	男	69	農業	H13～ H27～ R3～	認定農業者 青森市農業委員 丸生共同防除組合長	果樹 (りんご)	3.5ha	該当	-	▼推薦理由… 町内会役員として諸行事を取り仕切り、特に草取り作業、ゴミ拾い活動、体育大会の参加又若手農業後継者のりんごせん定指導等地区コミュニティーに率先活動されている。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価… 若手後継者や吉野田りんご支会へのせん定指導や共同防除組合長として放任園地、ふらん病撲滅等精力的に実践されている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価… 町内会副会長、吉野田八幡宮総代、共防組合長として幅広く町内会活動や農業関連行事に参加指導している。	耕作放棄地、不耕作地を減らす。新規就農者を増す。 離農を考えている人に第三者継承をすすめていきたい。					吉野田町内会	一戸 悟	会員相互の親睦を図り各事業の円滑な運営と振興をもって社会福祉事業増進に寄与する	850	吉野田町内に居住する人	
9	佐々木 孝悦	男	66	農業	H19.4～ H19.4～ H21.4.～ H24.5 ～R9.3 H30.9～	飛鳥町会役員(会計) 飛鳥水土里保全隊役員(事務局) 飛鳥農事振興会役員(会計) 奥内土地改良区職員(事務局長) 奥内土地改良区職員(退職予定) 青森市消防団奥内分団(分団長)	水稻	4.6ha	該当	-	▼推薦理由… 農業委員は、農地転用や農地に関する許認可等で土地改良区の運営上密接な関係が多いことから、本土地改良区の職員として活躍し、飛鳥農事振興会役員及び飛鳥地域水土里保全隊役員を歴任している佐々木孝悦氏を本土地改良区では適任者として推薦するものである。 今後も地域農業発展のための活躍が期待できる。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価… 永年に亘り土地改良区職員、農事振興会役員として地域農業に携わり役職を務め、人脈は広く、また、地域の農家の事情を把握し高齢農家からの相談を受けたり、リタイヤ農家へ手を差し伸べる等の行動には信頼が厚い。これら地域農業で培われた経験や知識は非常に豊富である。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価… 地域で取組んでいる飛鳥・水土里保全隊発足当初から役員を務め農業者と地域住民の結束に尽力し、地域発展のための活動に努めている。この実行力や行動力は、リーダーとしての力の豊かさである。	農業経営が厳しい中で、農業・農村の代表として農業者の農地維持・生産・販売の向上、又、遊休農地の解消・新規就農者の育成確保、担い手農業者の農地利用・集積で農地の減少確保に努め、情報の収集・提供をして農業者の生活向上に頑張ります。					奥内土地改良区	理事長 溝江 幸敏	農地の基盤整備・農業水利施設の維持管理	692	主に水田の所有者又は耕作者	

[illegible]